



千里大学生らがパソコンを学ぶ (2月8日)

住民自主企画支援事業として、千里大学パソコンクラブが企画して「パソコン教室」がみなくるで行われ、参加した学生の皆さんと一般参加者が、講師から文字の設定や印刷の仕方などの指導を受け、ワードの基礎を学びながらイラストを使ったチラシづくりに挑戦しました。

富良野地区の青年が集い 親睦を深める(2月4日)

富良野地区広域社会教育圏振興協議会事業の「富良野地区青年リーダー研修の集い」がみなくるで開催されました。

研修会では、本町の英語指導助手ブレット・ライト氏による「私のふるさと富良野」と題した講演や参加者との意見交換が行なわれた後、会場を空知川スポーツリンクスに移し、スポーツ交流としてカーリングを行い親睦を深めていました。



北落合小学校の児童が木工に挑戦 (2月8日)

北落合小学校の児童が木の学習の一環として木工体験をしました。木工愛好会の方々を講師に、道具の使い方を教わった後、やなぎやさくらの木に穴を開け「色鉛筆」と「鉛筆立て」づくりに挑戦し、熱心に取り組んでいました。



このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係(52 2115)までお知らせください。

カメラレポート CAMERA REPORT

地産地消を实践(1月16日)

農村女性ネットワークグループ夢香クラブ(代表長谷川由里子氏・下金山)の主催による「料理講習会」がみなくるで行われ、上川農業改良普及センター富良野支所による「食育」についての講演の後、南富良野産はくちよう米を使った五目おこわや赤飯、地元産の白菜を使ったサラダなどを参加者全員でつくり、地産地消の实践を行いました。



スキーの楽しさを学ぶ (1月13日・20日・27日)

町教育委員会の主催による小学生を対象とした町民スキー教室が南ふらのスキー場で行われ、講師の南富良野スキー連盟指導員から楽しく安全に滑走するスキー技術を学びました。



自慢の力作がズラリ(1月22日)

J Aふらの南富良野支所女性部の主催による「第35回漬物・特産物料理コンクール」がJ Aふらの南富良野支所で行われました。部員がこの日のために考えた「漬物」29品「特産料理」16品の計45品の力作が出品され、審査の結果、町長賞に柴田真由美さん(幾寅)が出品した「人参クリームコロッケ」、組合長賞に磯江フク子さん(下金山)が出品した「たくあん」がそれぞれ受賞されました。



読み手の声に耳をすまして(1月23日)

町子ども会連絡協議会の主催による第29回子ども会カルタ大会がみなくるで開催され、町内各地から小中学生合わせて23チームが出場し、カルタ町内一を競いました。会場に詰めかけた父母などが見守るなか、子ども達は読み手の声に耳をすまし、下の句が読まれると威勢よく札をとっていました。各部門の優勝チームは次のとおりです。

- ・小学校低学年の部
風の子(幾寅・仲町、住吉、朝日町)
- ・小学校高学年の部
ホワイターズ(幾寅・東町)
- ・中学生の部
GON(幾寅・東町)



下金山地区交通事故死ゼロ14,000日達成 を記念してアイスキャンドルを点灯 (2月15日)

下金山地区において、2月8日で交通事故死ゼロ14,000日を達成したことを記念して、国道237号線沿に交通安全啓発看板とアイスキャンドルが設置されました。啓発看板は、交通安全協会下金山支部の皆さんが設置し、アイスキャンドルは下金山小学校児童の皆さんが作成したもので、2月15日には、地域の皆さんや児童が参加して、アイスキャンドルの点灯式が行われ、参加した皆さんで手分けしてろうそくに点火しました。この後、児童から交通安全の誓いが述べられ、「交通事故死ゼロを続けるために、交通ルールを守って生活します。」などと力強く誓っていました。

